

2050年 脱炭素戦略社会に向かって 日本政府のGXの進捗状況は？

2022年7月に日本政府が『GX実行会議』を設置してからちょうど2年。
『GX実現に向けた基本方針』を閣議決定したのが2023年2月。

1年半近く経ったいま、政府の取り組みによって実際のところ、どのくらい脱炭素が進んでいるのでしょうか？

今回のセミナーでは、政府の具体的な目標、それを受けて地方自治体が行わなければならない状況、およびそのための財源。そして民間が活用できる財源とその内容について、とりわけ家庭や業務等に影響のある部分を重点的にお話を進めます。

具体的には、

『地域脱炭素の推進のための交付金（脱炭素先行地域、重点対策加速化事業）』
『脱炭素化推進事業債』『脱炭素化推進特別分（脱炭素債の拡充）』
『GX経済移行債』などなど。かなりのお金が動いています。

今回は日本社会でいま起こっている脱炭素社会に向けた動きについて、CV代表の村上が解説し、その後、皆さんと議論したいと思います。

GX とは？

グリーントランスフォーメーションの略。化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動。

日本政府は 2022年7月に「GX実行会議」を設置し、12月にGX実現に向けた基本方針（案）をまとめ、2023年2月に閣議決定している

2024年7月17日（水）18:30~20:00

- ① 「日本政府のGXの進捗状況は？」（45分）
- ② 質疑応答・ディスカッション（45分）

@ クラブヴォーバン新橋事務所
（東京都港区新橋2-5-6 大村ビル8階）

※ 終了後近隣飲食店またはCV事務所にて懇親会開催
（参加費各自）

事前申し込み要: CVサポーター及び自治体会員のみ
参加費無料（法人および自治体の方は3名まで）

※ZOOMでは、レクチャーのみご聴講いただけます。
質疑やディスカッションにはご参加いただけません。



ドイツとニセコの2拠点で活動。ゼネコン技術者を経て97年に渡独後、持続可能なまちづくり・交通・エネルギーをテーマとして、ドイツや欧州の先進事例を日本に発信。主な著作「キロワット・イズ・マネー」「ドイツのコンパクトシティはなぜ成功するのか」「進化するエネルギービジネス」他

村上 敦 環境ジャーナリスト・コンサルタント / CV代表

■ 問い合わせ・申込み先 ■

一般社団法人クラブヴォーバン

Email mail@club-vauban.net

- ①ご氏名 ②ご所属（法人および自治体の方）
 - ③メールアドレス ④現地 or オンライン参加
 - ⑤懇親会参加有無 を明記
- 後日参加に必要な情報をメールにてご連絡します